



第 57 代理事長 阿佐 昌彦

この度、第 57 代理事長を任期満了に伴い退任することになりました。在任中、会員の皆様方には温かい御支援とご厚情を賜りました事に心より深く感謝申し上げます。また、本会の活動が円滑に実施され、会員のためになるよう努めてまいったつもりでしたが、多々至らぬ点もあったかと思っておりますので、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

3 月 11 日に東日本大震災が起きました。話を聞くと、東北地方の菓業を営む我々の仲間も行方不明であったり、店舗などを流されたという話も聞きました。

私自身、何ができるか、何かしなくてはならないという思いになり、いろいろ考えさせられました。募金活動・救援物資を送るなどいろいろあると思います。

生活必需品の買い占め、イベントの自粛などのニュースを見聞きし、自分自身何か嫌な気持ちになり、いらだち、気が滅入ってしまいます。

しかし災害からの復興は、非日常から日常への変換であると思います。被害の少ない西日本は、哀悼の意は表さないといけないですが、今まで通り元気いっぱい消費活動や生産活動することによって東日本をサポートしないといけないと思います。

また、お菓子は、人を元気にしたり、幸せな気持ちにさせたり、夢を与えるものであります。できれば、大阪菓業青年クラブは、菓業を営む者の団体として、次年度以降、被災地の人々に何ができるかを考える 1 年にもして頂きたいと願っております。また私自身もそれに参加させていただきたいと思っております。

最後になりましたが、創造豊かで魅力のあるあふれる青年クラブの構築の為にも、今後とも会員様方には事業、運営に御協力いただくことを切にお願いいたしまして、理事長退任の挨拶と代えさせていただきます。